

ASIAN  
2&4  
RACE  
SUZUKA 2013

2013 ASIAN 2&amp;4 RACE

8/31 予選 SAT. 9/1 決勝 SUN.

## 日本初！アジアの2輪・4輪レースを同時開催！ 熱気あふれるアジアのレースが鈴鹿サーキットに上陸

鈴鹿サーキットは、2013年8月31日（土）、9月1日（日）に「アジアン2&4レース」として、1996年からアジアの国々を中心に開催されている「PETRONASアジアロードレース選手権シリーズ」と、2006年から開催されている韓国の4輪トップレース「CJハロービジョン スーパーレース チャンピオンシップ」を開催いたします。2輪、4輪のアジアレース同時開催は日本で初となります。

アジアロードレースは国内3メーカーのHonda、カワサキ、ヤマハが力を入れるアジアでの覇を争うレースシリーズです。ライダーはアジア各国からエントリーがあり、この戦いで勝ち抜き世界を目指す事を目的としているため、熱気に満ちあふれています。そして、スーパーレースは韓国で最も権威があり、排気量6200ccのハイパワーマシン「スーパー6000」と、韓流スター、リュ・シウォンらが参戦する「GTクラス」の2クラスで争われ、迫力のレースが魅力です。また、それぞれのレースを取材するメディアがアジア各国から鈴鹿に訪れるなど、高い注目が集まっています。



PETRONASアジアロードレース選手権シリーズ



CJハロービジョン スーパーレース チャンピオンシップ

## アジアから鈴鹿へ、鈴鹿からアジアへ これまでにないアジア内でのモータースポーツ交流が新たに始まる

鈴鹿サーキットは今年3月、台湾・高雄市の大魯閣株式会社とカートコースなどアミューズメント施設へのコンサルティング業務で合意し、台湾におけるモビリティ事業をスタートさせました。モビリティが持つ楽しさをアジアに向けて発信する大きな一歩となり、台湾をはじめアジア各国からの注目を集めることとなりました。

今年、アジアで注目のレースを初開催することで、さらに鈴鹿サーキットの認知を拡大し、広くアジアにアピールしてまいります。

このたび「アジアン2&4レース」では、アジアロードレース、スーパーレースを合わせて12か国から83名もの選手が参戦します。さらには500名を超えるレース関係者、報道陣の来日が予定されており、アジアを中心としたレースでは、これまでにない規模での開催となり、アジア内でのモータースポーツ交流が新たに始まります。

## アジアロードレース

Honda、ヤマハ、カワサキの600ccバイクで争う「スーパースポーツ600cc(SS600)」、世界選手権Moto3クラスへのステップアップを目指すアジア各国のライダーが集う国別対抗戦「アジアドリームカップ(ADC)」、フレームが車体下側に配置された独特な形状をしたマシンで争われる「アンダーボーン115cc(UB115)」の3カテゴリーが開催されます。

| クラス   | 内容                                   |
|-------|--------------------------------------|
| SS600 | エンジンは600cc以下<br>Honda、ヤマハ、カワサキが参戦    |
| ADC   | Honda CBR250Rのワンメイク<br>国別対抗戦         |
| UB115 | エンジンは115cc以下<br>フレームが車体下側に配置された独特な形状 |

### スーパースポーツ600cc(SS600)

Honda、ヤマハ、カワサキのバイクが参戦し、ライダーも日本、マレーシア、インドネシア、タイ、オーストラリア、インドなどから参戦しています。これまで浜口俊之選手が6度の王者に輝き、藤原克昭選手、清成龍一選手もチャンピオンを獲得するなど、モータースポーツ先進国である日本勢が圧倒的な強さを見せて来ました。

しかし、今シーズンはマレーシアのアズラン・シャー・カマルザマン(Honda)がここまでの6戦で2勝、2位4回と全レースで表彰台に立つ完璧な内容でランク首位を独走。このアズランの独走に対して、鈴鹿を得意とする玉田誠(Honda)、藤原克明(カワサキ)、そしてワイルドカードの6名を加えた16名の日本人勢の活躍に注目が集まります。



### エントリーリスト (30台)

| No. | 名前                                       | メーカー     | 国       |
|-----|--|----------|---------|
| 9   | Makoto Inagaki 稲垣 誠                      | Yamaha   | 日本      |
| 16  | Hirofumi Kunikida*** 國川 浩道               | Honda    | 日本      |
| 20  | Dimas Ekky Pratama*** ディマス・エキー・プラタマ      | Honda    | インドネシア  |
| 21  | Md Zaqwan Zaidi ザクワン・ザイディ                | Honda    | マレーシア   |
| 23  | Hazlanshah Md Noor ハズランシャー・ノア            | Kawasaki | マレーシア   |
| 24  | Peerawat Wongthanananon ピーラワット・ウオングターナノン | Honda    | タイ      |
| 25  | Azlan Shah Kamaruzaman アズラン・シャー・カマルザマン   | Honda    | マレーシア   |
| 26  | Ahmad Fuad Baharudin アハムド・ファド・バハルディン     | Kawasaki | マレーシア   |
| 33  | H A Yudhistira ユディストリア                   | Kawasaki | インドネシア  |
| 34  | Satoru Iwata 岩田 悟                        | Honda    | 日本      |
| 37  | Katsuaki Fujiwara 藤原 克昭                  | Kawasaki | 日本      |
| 38  | Shinichi Nakatomi*** 中富 伸一               | Yamaha   | 日本      |
| 50  | Mitsunori Okamura 岡村 光矩                  | Kawasaki | 日本      |
| 51  | Ryosuke Katahira 片平 亮輔                   | Kawasaki | 日本      |
| 52  | Md Zamri Baba ザムリ・ババ                     | Yamaha   | マレーシア   |
| 55  | Sadahito Suma*** 須磨 貞仁                   | Suzuki   | 日本      |
| 57  | Tatsuro Saito*** 齋藤 達郎                   | Yamaha   | 日本      |
| 59  | Rattthapong Wilairot ラタポン・ウィライロー         | Honda    | タイ      |
| 71  | Tomoyoshi Koyama 小山 知良                   | Honda    | 日本      |
| 76  | Yuki Ito 伊藤 勇樹                           | Yamaha   | 日本      |
| 77  | Yasuhiro Usami*** 宇佐見 保弘                 | Yamaha   | 日本      |
| 78  | Michael Blair マイケル・ブレア                   | Yamaha   | オーストラリア |
| 82  | Ayumu Tanaka* 田中 歩                       | Yamaha   | 日本      |
| 83  | Yoshitaka Miyajima*** 宮嶋 佳毅              | Honda    | 日本      |
| 91  | Jakkrit Swangswat* ヤッキリト・スワングスワト         | Honda    | タイ      |
| 93  | Md Farid Badrul Hisham ファリド・バドラル・ヒシャム    | Yamaha   | マレーシア   |
| 99  | Md Ramdan Rosli ラムダン・ロスリ                 | Yamaha   | マレーシア   |
| 100 | Makoto Tamada 玉田 誠                       | Honda    | 日本      |
| 162 | M. Fadli Imammuddin ファドリ・イマムディン          | Kawasaki | インドネシア  |
| 634 | Ryuta Kobayashi 小林 龍太                    | Honda    | 日本      |

\*\*\* = ワイルドカード

\* = ライダー交代

株式会社 モビリティランド 鈴鹿サーキット

〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町7992 TEL(059)378-1111 FAX(059)378-4568 URL <http://www.suzukacircuit.jp/>

## アジアドリームカップ(ADC)

Honda CBR250RRのワンメイクで開催されるこのクラスは、明確なステップアップ制度が整えられています。日本国内では全国15ヶ所のサーキットで開催されるCBR250Rカップ。各シリーズの上位ライダーは、12月に国内の「グランドチャンピオン大会」に参戦。ここで代表に選ばされると、この「アジアドリームカップ」に参戦できます。

アジアドリームカップは各国から代表で選ばれたライダーによる国別対抗戦として開催され、その中で優秀な成績を収めると、世界選手権Moto3クラスへのスポット参戦の可能性を与えられるため、世界での活躍を目指す、多くの若いライダーが参戦しています。

スタートからゴールまで接戦が続く若手ライダー中心のこのレースでは、日本人ライダー尾野弘樹がランキングトップを独走。地元鈴鹿ではもちろん優勝候補として注目が集まっています。



## エントリーリスト (19台)

| No. | 名前                      |                 | メーカー  | 国       |
|-----|-------------------------|-----------------|-------|---------|
| 1   | Hiroki Ono              | 尾野弘樹            | Honda | 日本      |
| 2   | Nakarin Atiratphuvapat  | ナカリン・アティラプババト   | Honda | タイ      |
| 3   | Md Dwi Satria           | ドウィ・サトリア        | Honda | インドネシア  |
| 4   | Kanatat Jaiman          | カナタット・ジェイマン     | Honda | タイ      |
| 6   | Chuang An-Yu            | チュアン・アンユー       | Honda | 台湾      |
| 7   | Chen Yuan Hang          | チェン・ユエン・ハン      | Honda | 中国      |
| 8   | Reitoku Kurogi          | 黒木玲徳            | Honda | 日本      |
| 9   | Md Jazil Juraimi        | ジャジル・ジュライミ      | Honda | シンガポール  |
| 10  | Khairul Idham Pawi      | カイルール・イダム・パウイ   | Honda | マレーシア   |
| 11  | Gerry Salim             | ジェリー・サリム        | Honda | インドネシア  |
| 12  | Sumit Loucs Toppo       | スミト・ルークス・トッポ    | Honda | インド     |
| 13  | Zhou Sheng Jun Jie      | ツー・シェン・ジュン・ジー   | Honda | 中国      |
| 14  | Arunagiri Prabhu        | アルナギリ・ブラブ       | Honda | インド     |
| 15  | Ned Ernest Daniel       | ネッド・アーネスト・ダニエル  | Honda | スリランカ   |
| 16  | Md Fitri Ashraf Razali  | フィティリ・アシュラフ・ラザリ | Honda | マレーシア   |
| 17  | Garry Jr Agustin Caneda | ギャリー・アグスティン・カネダ | Honda | フィリピン   |
| 18  | Nicholas Aaron Waters   | ニコラス・アロン・ウォーターズ | Honda | オーストラリア |
| 19  | Muklada Sarapuech       | ムクラダ・サラブク       | Honda | タイ      |
| 20  | Sarath Kumar Shankar    | サラス・クマ          | Honda | インド     |

## アンダーボーン115cc(UB115)

アンダーボーンはスクーターのようにフレームが車体下側に配置された独特な形状をしています。Honda、ヤマハ、カワサキの115ccマシンが参戦し、東南アジアでは大きな人気を誇っています。その接近戦と激しいアクションが魅力で、日本のファンの間でも人気が高まっている注目のクラスです。



## エントリーリスト (15台)

| No. | 名前                        |                | メーカー     | 国      |
|-----|---------------------------|----------------|----------|--------|
| 12  | Hadi Wijaya               | ハディ・ウイジャヤ      | Yamaha   | インドネシア |
| 15  | Md. Rozaiman Said         | ローザイマン・セイド     | Honda    | マレーシア  |
| 17  | Mohd Hafieenaz Mohd Ali   | ハフィナッツ・アリ      | Yamaha   | マレーシア  |
| 18  | Md. Adib Rosley           | アディブ・ロスリー      | Yamaha   | マレーシア  |
| 19  | Norizman Ismail           | ノリズマン・イスマイル    | Honda    | マレーシア  |
| 23  | Gupita Kresna Wardhana    | グピタ・クレスナ・ワードハナ | Kawasaki | インドネシア |
| 27  | Harlan Fadhillah          | ハーラン・ファディラ     | Yamaha   | インドネシア |
| 36  | Md. Affendi Rosli*        | アフエンディ・ロスリ     | Honda    | マレーシア  |
| 38  | Kazuki Masaki             | 真崎 一輝          | Honda    | 日本     |
| 46  | Vorapong Malahuan         | ウーラポン・マラウン     | Honda    | タイ     |
| 50  | Ahmad Afif Amran          | アフマド・アフフ・アムラン  | Yamaha   | マレーシア  |
| 57  | Hokky Krisdianto          | ホッキー・クリスティアント  | Yamaha   | インドネシア |
| 61  | Ferlando Herdian          | フェルナンド・ヘルディア   | Yamaha   | インドネシア |
| 63  | Md Amirul Ariff Musa      | アミラル・アリフ・ムサ    | Honda    | マレーシア  |
| 118 | Tengku Amirul Haffiruddin | テンクウ・アミル       | Yamaha   | マレーシア  |

## スーパーレース

鈴鹿初開催となる韓国のGTカーシリーズ「スーパーレース」は6200ccエンジンによるストックカー「スーパー6000」クラスと、FIAグループA規定に準じた「GT」クラスの混走レース。両クラスとも成績に応じてハンデウェイトが積まれるルールを採用しており、簡単に勝ち続けられないのが特徴です。世界屈指のテクニカルコース鈴鹿サーキットで、韓国のトップドライバー達がこのハイパワーマシンをどのように操るのか。鈴鹿初体験の選手が多いだけに目が離せません。

| クラス      | 内容  |
|----------|---|
| スーパー6000 | 8気筒6200cc、GMのワンメイクエンジン<br>レース専用ストックカーのワンメイク<br>18インチスリックタイヤ<br>タイヤは自由       |
| GT       | エンジンは1600cc～5000cc未満<br>17,18インチスリックタイヤ<br>ヒュンダイ、シボレーなどが参戦<br>ハンコックタイヤワンメイク |

### スーパー6000

メインクラスとなるのがスーパー6000。8気筒6200ccのエンジンからは、最高速度300km/hを超えるほどのパワーが出力されます。

昨年に引き続きチャンピオン争いを繰り広げているファン・ジンウ、キム・ウイス、キム・ドンウンはそれぞれ50kg、60kg、30kgの重りが積まれ、特にアップダウンが激しく、コーナーが連続する鈴鹿では重さのハンディは大きく影響するため、いつものような快走は期待できません。またスポット参戦する加藤寛規も加わり、今年一番の接戦となることでしょう。



### GT

FIAグループA規定に準ずるGT車両で行われ、鈴鹿戦にはヒュンダイとシボレーの2メーカー3車種（タイヤはハンコックのワンメイク）が参戦します。

韓流スターで有名なリュ・シウォン、韓国内でタレント活動をしているキム・ジンピョもそのエントリーに名を連ね、リュ・シウォンは現在シリーズランキング3位、キム・ジンピョも5位とその実力にも注目が集まります。



### エントリーリスト (SUPER 6000: 9台 / GT: 10台)

| Class      | NO            | Name            | Team           | Car model           |                      |
|------------|---------------|-----------------|----------------|---------------------|----------------------|
| SUPER 6000 | 1             | KIM EUI SOO     | キム・ウイス         | CJ RACING           | ストックカー               |
|            | 3             | KIM DONG EUN    | キム・ドンウン        | INJE SPEEDIUM       | ストックカー               |
|            | 5             | KATOH HIROKI    | 加藤 寛規          | INJE SPEEDIUM       | ストックカー               |
|            | 7             | HWANG JIN WOOK  | ファン・ジンウ        | VALVOLINE           | ストックカー               |
|            | 12            | HWANG JIN WOO   | ファン・ジンウ        | CJ RACING           | ストックカー               |
|            | 46            | YUN SEUNG YONG  | ユン・スンヨン        | HSD SL Motorsport   | ストックカー               |
|            | 55            | KIM SANG IN     | キム・サンイン        | STAR-AZ             | ストックカー               |
|            | 61            | KIM PETER       | キム・ピーター        | E-Rain              | ストックカー               |
|            | 88            | PARK HYUNG IL   | パク・ヒュンイル       | HSD SL Motorsport   | ストックカー               |
| GT         | 11            | LEE JAE WOO     | イ・チェウ          | CHEVROLET           | シボレー クルーズ 2.0T       |
|            | 21            | CHOI HEA MIN    | チョイ・ヘミン        | CJ RACING           | ヒュンダイ ジェネシス クーペ 3.8  |
|            | 22            | KIM JIN PYO     | キム・ジンピョ        | CHEVROLET           | シボレー クルーズ 2.0T       |
|            | 31            | KIM JANG RAE    | キム・チャンリェ       | SPITZEN MOTORS      | ヒュンダイ ジェネシス クーペ 3.8  |
|            | 37            | JANG SOON HO    | チャン・スンホ        | EXR TEAM106         | ヒュンダイ ジェネシス クーペ 2.0T |
|            | 53            | SONG HYUK JIN   | ソン・ヒョジン        | CJ RACING           | ヒュンダイ ジェネシス クーペ 3.8  |
|            | 60            | CHO YOUNG SEUNG | チョ・ヨンスン        | CJ RACING           | ヒュンダイ ジェネシス クーペ 3.8  |
|            | 66            | SONG GIL SUP    | ソン・キルサブ        | SPITZEN MOTORS      | ヒュンダイ ジェネシス クーペ 3.8  |
|            | 72            | RYU SI WON      | リュ・シウォン        | EXR TEAM106         | ヒュンダイ ジェネシス クーペ 2.0T |
|            | 81            | JEOUNG YOUN ILE | チョン・ヨンイル       | EXR TEAM106         | ヒュンダイ ジェネシス クーペ 2.0T |
| 99         | JEUNG KI YONG | チョン・キヨン         | SPITZEN MOTORS | ヒュンダイ ジェネシス クーペ 3.8 |                      |

### 加藤寛規がスポット参戦決定！

スーパー6000クラスに加藤寛規の参戦が決定しました。1997年からJGTC(全日本GT選手権)、SUPER GTに参戦し続けるベテランGTドライバーで、F3時代には1998年に全日本選手権2位、マカオGP6位を記録。2002年にはル・マン24時間で総合7位。他にもフォーミュラ・ニッポン、スーパー耐久、FIAスポーツカー選手権に参戦するなど、様々なカテゴリーで活躍している選手です。2013年はエヴァRT初号機アップルMP4-12C(マクラーレンMP4-12C)でSUPER GT GT300クラスに参戦しています。

株式会社 モビリティランド **鈴鹿サーキット**

〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町7992 TEL(059)378-1111 FAX(059)378-4568 URL <http://www.suzukacircuit.jp/>

## チケット情報

[価格はすべて税込]

**2013 ASIAN 2&4 RACEは、ゆうえんち入園料でご覧いただけます**

| 料金(ゆうえんち入園料) |      |         |
|--------------|------|---------|
| 大人(中学生以上)    | 小学生  | 3歳~未就学児 |
| 1,600円       | 800円 | 600円    |

### オプションチケット

#### 【グリッドウォーク】

スーパーレースグリッドウォーク 決勝レースが始まる前のメインストレート上(グリッド)に入場することができるグリッドウォークを実施いたします。

■開催日時:9月1日(日)12:40~13:00

■販売日時:8月31日(土) 9月1日(日)両日とも7:45~ ※限定先着500枚(お1人様4枚まで)

■販売場所:GPレセプション ■料金:1,000円

※グリッドウォークは9月1日(日)のみ実施されます。パス販売は8月31日で完売した場合、日曜日の販売は行いません。

#### 【ホスピタリティラウンジ入場券】

ホームストレートをはさんでグランドスタンドの向かいに位置するホスピタリティラウンジは、エアコンやモニターが完備され、レースを快適に観戦できるスペースです。また、ピットの真上にせり出したテラスからは最も近い位置からコースを見ることができ、迫力のスタートシーンを間近で見ることができます。

■場 所:ピットビル2階 ホスピタリティラウンジ

■日 程:8月31日(土)・9月1日(日)

■販売日時:8月31日(土) 9月1日(日)両日とも7:45~ ※各日 限定先着 400枚

■販売場所:GPレセプション およびセンターハウス ■料金:8月31日(土)・9月1日(日)各日1,000円

#### ピットウォークを開催(無料)

8月31日(土)・9月1日(日)ともにピットウォークを開催いたします。入場は無料(別途ゆうえんち入園料必要)。この機会に是非ご参加ください。

■開催日時:8月31日(土)12:45~13:35/9月1日(日)12:00~12:25

■入場無料(別途、入園料は必要となります)

※ピットウォークはレースの進行状況により時間短縮または中止の場合がございます。

### 2013 ASIAN 2&4 RACE開催概要

■大会名称:2013 アジアン2&4レース

2013 PETRONAS アジアロードレース選手権シリーズ 第4戦

2013 CJハロービジョン スーパーレース チャンピオンシップ 第5戦

■開催日:2013年8月31日(土)予選・9月1日(日)決勝

■主催:(2輪)一般財団法人 日本モーターサイクリススポーツ協会(MFJ) / 株式会社モビリティランド  
(4輪) 鈴鹿モータースポーツクラブ(SMSC) / 株式会社モビリティランド

■公 認:(4輪)一般社団法人日本自動車連盟(JAF)

■大会主催:株式会社モビリティランド 鈴鹿サーキット

■後 援:観光庁 / 三重県 / 鈴鹿市 / 鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会 /  
一般社団法人 鈴鹿市観光協会 / 鈴鹿商工会議所